

日刊建設工業新聞（2024年7月17日付3面掲載）

【オリコンサルがDX成果発表会 BIM/CIM 高度活用事例を全社展開】

表会」を開いた。生産性向上や省力化につながるツールを紹介するとともに、BIM/CIMの高度活用を図った事例を全社に展開した。役職員約520人が参加した。

効率化・省力化ツールでは、生成AIを活用したプログラミングの汎用（はんよう）化や、繰り返しの手作業やメール処理の省力化事例などを報告。BIM/CIM活用では構造と道路、河川の各分野から計3件を発表。AR（拡張現実）に変換して対外協議や住民の理解促進を図った事例や、スマートフォンのリーダーで対象の形状を検知するLiDAR（ライダー）を用いた転石調査の事例などを紹介した。

野崎社長は講評で学習とビジョン、行動という三つのキーワードを挙げ、「自らのビジョンを掲げ、学び、そして行動・チャレンジする。ぜひこれを継続してほしい」と締めくくった。

BIM/CIM高度
活用事例を全社展開

オリコンサルが
DX成果発表会

オリエンタルコンサルタ
ツは2日、「DX成果発